

つくば市未来共創プロジェクト
企画提案書

令和8年5月18日改訂

つくば市長 殿
(政策イノベーション部科学技術戦略課扱い)

所在地 東京都渋谷区本町 1-6-2
商号又は名称 カシオ計算機株式会社
代表者氏名 教育事業部 事業部長 佐藤 智昭

つくば市未来共創プロジェクトに応募するため、別添のとおり関係書類を提出します。

1 提案名

日本語学習アプリ利活用による外国人市民の日本語レベル向上とアプリ個人利用の実証 およびコミュニケーション創造による多文化共生の環境づくりの実証
--

2 提案者情報

会社/機関/組織/学校名 ※個人事業主の場合は個人名	カシオ計算機株式会社
提案代表者名 ※役職も記載	教育事業部 EdTech 戦略部 国内 EdTech 推進室 内田 義之（役職：マスター）
所在地 ※移転予定があれば記載	〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2
設立年月日 ※和暦及び西暦を記載	昭和 32 年（西暦 1957 年）6 月 1 日
担当者氏名 ※所属や役職も記載	教育事業部 EdTech 戦略部 国内 EdTech 推進室 内田 義之（役職：マスター）
連絡先（電話番号）	080-5028-7578
連絡先（メールアドレス）	uch10183@casio.co.jp

[企画提案書記載にあたっての留意事項]

- ・各項目について、簡潔に記載ください。必要に応じて図等を入れてください。
- ・記載枠が足りない場合は、適宜、拡張できることとします。
- ・なお、必要に応じて、本様式の補足資料を別途添付してください。
(補足資料の例：提案する実証実験に関する既存の説明資料や企画提案資料等)

様式第2号

1 未来技術及びサービス等の内容

【未来技術・サービス等の内容】

- ・本実証実験の核となる未来技術を記載してください。

活用する未来技術	日本語学習用アプリケーション（発音判定機能搭載）
----------	--------------------------

※未来技術の例：AI・自動運転・ドローン・ビッグデータ・サイバーセキュリティ・IoT・ネットワーク・コンピューティング・ロボティクス等

- ・上記に記載した未来の技術を用いたサービス・製品内容について、具体的に記載してください。

- ・通じる日本語が習得できる音読学習機能
- ・日本語発音とスピーキングの判定機能

※つくば市（株）プロンテストと産業技術総合研究所 共同開発の特許技術「プロンテストエンジン」搭載

- ・教科書まるごと1冊分のボリューム（全61レッスン・147パートのカリキュラム）

⇒リスニングから発音・音読判定まで、必要な練習を網羅

- ・WEBアプリのため、スマホやタブレットなど、使用する端末を選ばずレッスンできる

2 つくば市の課題及び解決策

本実証実験で、つくば市のどのような課題に対し、未来技術を活用してどのように課題を解決するのか、また、どのような未来社会の実現に貢献するか記載してください。

【つくば市の課題・未来技術を活用した解決方法】

- ・解決したい本市の課題を記載してください。
- ・未来技術を活用して、どのように本市の課題を解決するのか記載してください。

「第2次つくば市グローバル化基本指針」推進のベースとなる日本人市民と外国人市民との良好なコミュニケーションを実現するために、誰でも簡単に・場所を選ばず・自分のペースで日本語の音読学習ができるアプリを提供し、発話機会を増やすことで日本語習得の促進を図る。

【目指す未来社会像】

- ・どのような未来社会の実現に貢献するか記載してください。

日本人市民と外国人市民との日本語による良好なコミュニケーションにより、お互いの生活・文化を尊重し、分断を生まない社会を実現するための一助となる取り組みを実践し、外国人・日本人の区別なく、すべての人にとって住みやすい、全国のモデルケースとなるグローバル都市を目指す。

様式第2号

2 実証実験内容の位置づけ

今回の実証実験の提案内容が、「第3期つくば市戦略プラン」の個別計画又は「つくばスーパーサイエンスシティ構想」においてどこに位置づけるのか、図1の戦略プランの施策体系又は図2のつくばスーパーサイエンスシティ構想の概要版から適するものを選び、示してください。位置づけとしてふさわしいものがない場合は、「その他」欄にその詳細を記載してください。

位置づけ	例 IV-3-① スーパーシティの推進 Ⅲ-3-① 多文化共生の推進
その他	

3 つくば市で行いたい実証実験の内容

1に記載したつくば市の未来像の実現に向けて、どのような実証実験を行うのか、具体的な計画を記載してください。実証実験を実施したい場所、必要なモニター、実施期間・回数、実施体制（組織、スタッフ、役割分担）等を具体的に記載してください。

実証実験：音読学習アプリのトライアル（無料）利用による日本語習得の効果検証
対象範囲：つくば市内の外国人市民全員
実施期間：2026年度
実証予定：2026年7月 ライセンス付与とオンライン説明会実施
2026年7月～12月 半年間のトライアル実施（利用可能期間は2027年3月末まで）
2027年1月 アンケート実施（利用者全員を対象）
2027年2月 アンケート集計・フィードバック
サポート：利用者からのオンライン問い合わせ対応

4 実証実験で検証したい内容

3に記載した実証実験で検証したい内容を記載してください。

トライアルアンケート実施によるアプリの効果検証および改善点の可視化（アンケート案）

- ・利用頻度および利用場面の確認（選択式）
- ・日本語レベルの変化（5段階で評価）
- ・コミュニケーション機会の変化（5段階で評価）
- ・アプリに対する評価について（プラス評価・マイナス評価、選択式）
- ・今後の利用意欲（選択式）

様式第2号

5 市に求める支援

3で記載した実証実験を行うために、具体的にどのような支援を求めるのか記載してください。

- ・今回ご提案させて頂く日本語学習アプリの対象者へのご案内と働きかけをお願い致します。
※15歳以上の外国人市民の方を対象にご案内をお願い致します。
※以降はカシオと利用者が直接対応させて頂きます。

6 製品・サービス等の開発スケジュール

実用化までのスケジュールを示し、提案時点の製品・サービスなどの開発の進捗状況（研究レベル、試作段階（プロトタイプ）、製品化段階など）や開発上の課題等について記載してください。また、今回の実証実験は、どの時点を対象とするのかを明確にしてください。

- ・トライアル版アプリは開発済み（発売時期は調整中）
※上記に収録されているレッスンカリキュラムのストーリーは高校生以上の方が対象
（日本語レベルはN5～N4レベル向け）
- ・小中学生向けのレッスンカリキュラムについては年内を目途に開発予定

7 実証実験の成果目標と今後の展開

実証実験の実施により、どのような成果を目標とするのか、また、次のステップとして今後どのような展開を考えているのか。6製品・サービスなどの開発のスケジュールとの整合性を踏まえて記載してください。

- ・日本人市民と外国人市民との良好なコミュニケーションを実現するための学習ツールになるようニーズ確認と機能強化ポイントを発掘する
- ・小中学生向けレッスンカリキュラムの開発を前提に、つくば市様として継続利用頂ける学習ツールとしての定着を目指す（学習習慣化、次年度の予算化 等）
- ・今回プロジェクトの事例化と全国への波及

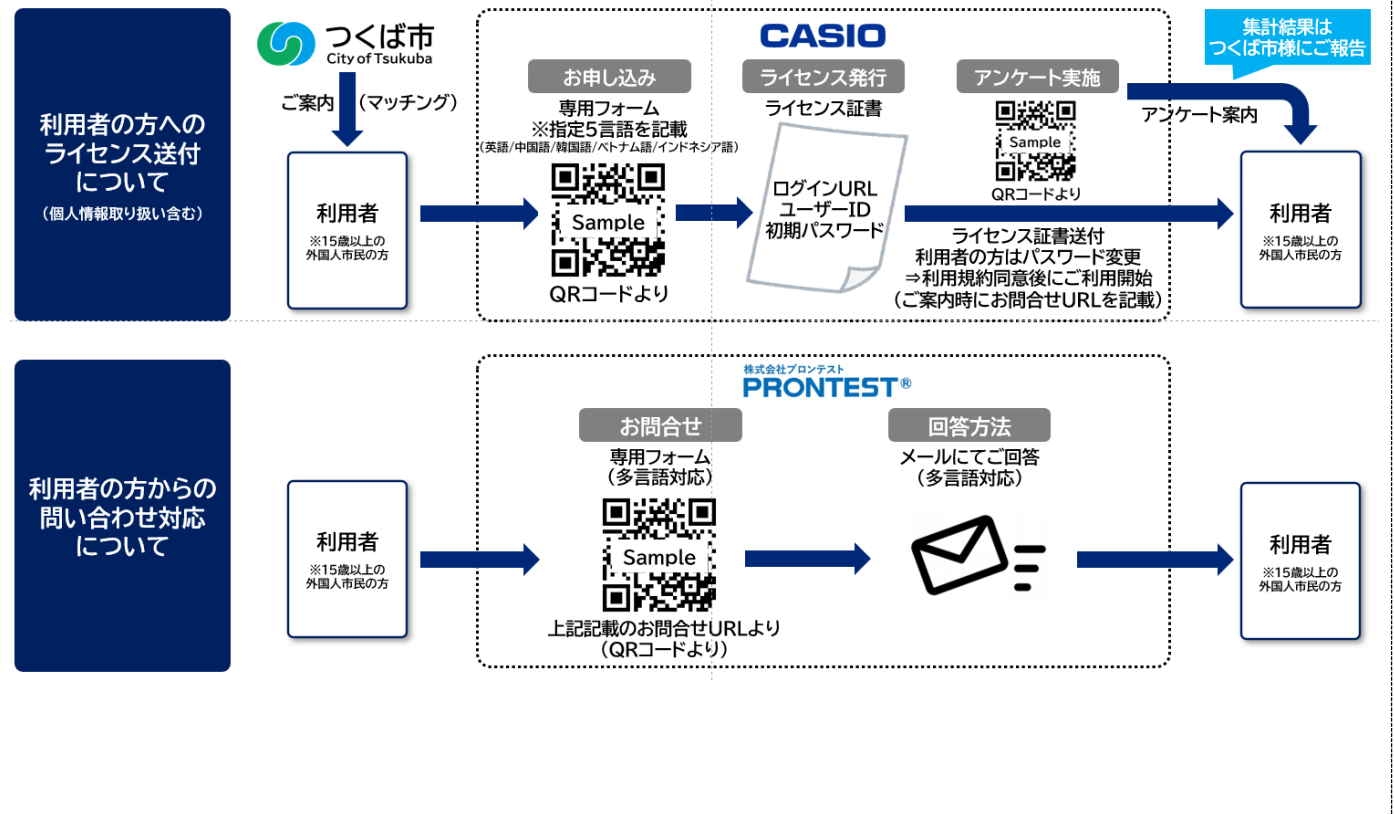
様式第2号

8 想定されるリスクと安全対策

3に記載した実証実験を行う上で、想定されるリスクと安全対策について記載してください。

個人情報の取り扱いの有無 ☒あり ☐なし

配慮が必要な個人情報が含まれる情報の取り扱いについては、カシオと利用者との直接やり取り、もしくはアプリ開発協力会社の株式会社プロンテストにて直接対応させていただきます。



9 その他 (任意)

実証実験を通じて、将来的に社会実装が想定される製品・サービス等が想定しているマーケットや社会実装に向けて障壁となる記載など、必要に応じて記入ください。

様式第2号

目指す まちの姿	基本施策		キーワード	今後5年間で取り組むこと
Ⅰ 魅力をみんなで創るまち	Ⅰ-1	市民と共に創るまちづくりを推進する	市民協働 区会 市民参加	①地域活動と市民チャレンジへの支援 ②新規区会設立促進と活動支援 ③市政への市民参加の推進
	Ⅰ-2	資源をみがき、いかし、魅力あふれるまちをつくる	農業 観光 文化財	①豊かな農資源を輝かせることによる魅力の創出 ②豊かな資源をいかした観光の振興 ③文化財の保存と活用
	Ⅰ-3	つくばならではの街並みや体験を創出する	筑波研究学園都市 中心市街地 (つくば駅周辺) 周辺市街地 (R8)	①つくば駅周辺の魅力向上とにぎわい創出 ②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興
	Ⅰ-4	シティプロモーションを推進する	広報	①市内外へ向けた戦略的な広報の推進
Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち	Ⅱ-1	地域が支え合い、医療、介護、福祉が充実したまちをつくる	地域福祉 高齢者福祉 障害者福祉	①相互に支え合う地域共生のまちづくり ②誰もが適切にサービスを利用できる支援体制の強化 ③誰もが安心して暮らすことのできる包括的支援の充実
	Ⅱ-2	人生100年時代に生涯いきいきと暮らせるまちをつくる	健康 生涯学習 スポーツ 文化芸術	①健康づくりの支援 ②生涯学習による市民生活の充実 ③スポーツで“つながる”まちつくばの実現 ④文化芸術による市民生活の充実
	Ⅱ-3	地域や市民一人ひとりの防災・防犯への備えを後押しする	防災 防犯 空家対策	①災害に備えた市による公助機能の強化 ②市民による自助・地域における共助の推進 ③防犯意識を高め、安全・安心を実感できる生活環境づくり ④安全・安心な地域づくりのための空家対策
	Ⅱ-4	公共施設やインフラのマネジメントを推進する	公共施設 インフラ	①公共施設・インフラの予防保全型維持管理の強化 ②安全・安心と充実した機能を確保するための施設整備 ③安定的な財源確保と民間の創意工夫等の活用
	Ⅱ-5	多様な移動手段があるまちをつくる	公共交通 自転車	①利便性の高い公共交通ネットワークの形成と様々な移動サービスの提供の推進 ②自転車を楽しめるまちづくりの推進
	Ⅱ-6	身近な自然を守り、楽しみ、持続させる	生物多様性 森林保全 環境保全	①生物多様性の重要性や価値の理解促進 ②多面的機能を発揮する森林の維持・保全 ③安心で快適な生活環境の保全

様式第2号

目指す まちの姿	基本施策		キーワード	今後5年間で取り組むこと
Ⅲ 未来をつくる人が育つまち	Ⅲ-1	子どもも親も楽しく育つ環境をつくる	妊娠・出産・子育て 幼児教育・保育 放課後の居場所 たまり場	①安心して生み育てられる子育て環境の充実
				②幼児教育・保育の環境の充実
				③放課後等における子どもの活動環境の充実
				④子どもも大人も楽しめるたまり場の充実
	Ⅲ-2	個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む	学校教育	①一人ひとりの「学び」を大切にする教育の推進
				②「学び」の多様性に対応し個性が花開く教育の推進
Ⅳ 市民のために科学技術をいかすまち	Ⅲ-3	多様性が尊重された、包摂的な社会をつくる	多文化（国籍） 性別 障害	③地域に支えられ、共に学び育ち合う教育の推進
				④子どもも大人も楽しめるたまり場の充実
	Ⅳ-1	新たな共創の仕組みづくり	新産業育成 イノベーション スタートアップ	①一人ひとりの「学び」を大切にする教育の推進
				②「学び」の多様性に対応し個性が花開く教育の推進
	Ⅳ-2	地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる	オフィス・産業用地 若者定着・雇用促進 新規創業	③地域に支えられ、共に学び育ち合う教育の推進
				④子どもも大人も楽しめるたまり場の充実
	Ⅳ-3	市民のために新たな技術や価値を導入し、進化するまちをつくる	スーパーシティ データ利活用 行政のデジタル化 デジタルによる 業務改革	①安心して生み育てられる子育て環境の充実
				②幼児教育・保育の環境の充実
	Ⅳ-4	地球に優しく「ごみ」のない低炭素で循環型のまちをつくる	ごみの減量 3Rの推進 脱炭素	③放課後等における子どもの活動環境の充実
				④子どもも大人も楽しめるたまり場の充実

図1 戦略プランの施策体系図

出典：第3期つくば市戦略プラン

https://www.city.tsukuba.lg.jp/material/files/group/15/tsukuba_senryakuplan3.pdf



つくばスーパーサイエンスシティ構想

～科学で新たな選択肢を、人々に多様な幸せを～



社会全体が一人ひとりを包み込み、支え合う「誰一人取り残さない」SDGsの精神の下で、世界最高峰の科学技術を結集し、デジタル、ロボティクス等の最先端技術の社会実装と都市機能の最適化を進めていく。

これにより、住民参加を基盤とし、住民と住民、住民と行政のつながりを深化しつつ、出口の見えない社会課題の克服や革新的な暮らしやすさを実現する住民中心のスーパーシティを目指す。



市長
五十嵐 立青



全体統括者（アーキテクト）
筑波大学 鈴木健嗣 教授

実装に向けた取組

デジタル インフラ整備	マイナンバー・マイナンバーカード利用 拡大、高齢者向けスマホ・タブレット配 布、スマホアドバイザー配置
研究成果の 社会実装と エコシステム	つくばの研究機関（約150機関）から 生み出される研究成果を、実証実験 を経て社会実装
広範かつ大胆な 規制・制度改革	公職選挙法、住民基本台帳法、道 路構造令、道路交通法、道路運送 法、行政機関個人情報保護法、建 築基準法、WTO政府調達協定等
民間事業者等の コミットメント	つくばスマートシティ協議会（産学公 73機関加盟）と連携、データ連携基 盤の構築
住民等の 意向の把握	住民投票、市長キャラバン、オー ープンハウス、有識者会議、パブリックコメン ト、住民ワークショップ等
住民等の 個人情報の 適切な取扱い	つくば市個人情報保護条例等、職員 データ活用研修、市独自の倫理原 則

先進的サービスの実装

行政	先進的行政サービス（つくばトラスト） ①インターネット投票、②多言語ポータルアプリ、 ③行政手続DX、④行政ビッグデータの活用
移動	先進的移動サービス（つくばモビリティ） ①周辺部コミュニティ・モビリティの導入、②中心部ワ ン・モビリティの導入
物流	先進的物流サービス（つくばポーター） ①荷物搬送ロボットやドローン等による買物の利便 性向上、②移動スーパーの高度化
医療・ 介護	先進的医療・介護サービス（つくばヘルスケア） ①医療情報や生活習慣情報活用による健康寿 命延伸、②救急医療高度化、③医薬・介護・服 薬の連携、④個人への健康関連データの還元
防犯・ 防災・ インフラ	先進的防犯・防災・インフラサービス（つくばレジ リエンス） ①インフラ・エネルギーマネジメント、②避難所・被 災状況の可視化、③地域防犯情報ネットワーク

目指す社会



- ① 移動の自由と健康な自立を人々へ提供し、安心して暮らせるために都市と郊外の二極化を是正する。
- ② 人生の各段階を支える行政サービスを人々へ提供し、信頼ある行政が支える多文化共生の社会を実現する。
- ③ 安全で持続可能な都市空間を人々へ提供し、活力ある都市力を向上させる。

図2 つくばスーパーサイエンスシティ構想の概要版

出典：スーパーシティ型国家戦略特区

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/material/files/group/17/teiansyogaiyou2.pdf>